



新潟県立看護大学
Niigata College of Nursing

後援会だより

contents

- P.2 ● ごあいさつ
- P.3 ● 卒業式、旅立ちの言葉
- P.4 ● 桜蓮祭
- P.6 ● 学内活動の様子
- P.7 ● 学外活動の様子
- P.8 ● 学外活動の様子、年間カレンダー、お知らせ

vol.32
2020.3

ごあいさつ Greetings



新潟県立看護大学
学長 小泉 美佐子

この後援会だよりの原稿を2月28日に書いております。新型コロナウイルスによる感染拡大を防ぐために、大学は3月13日に予定する第15期生学位記伝達式（卒業式）の実施について、在校生や来賓、保護者の参加をご遠慮いただき、式典全体の内容を精選し、時間を短縮する方針を決定。当日の謝恩会も中止とすべく謝恩会実行委員会に働きかけることにしました。お子様の晴れの式典への列席を楽しみにされていた保護者の皆様にお断りすることは大変心苦しい限りですが、何卒ご理解の程、お願い申し上げます。振り返ってみますと、東日本大震災があった2011年3月、私にとっては前職の群馬大学を定年退職する年でした。県民ホールでの全学合同の学位記伝達式は中止となり、保健学科の講堂に集まり専攻毎に教室で卒業証書を渡すだけになりました。混乱のなかでしたが、卒業生は互いを祝福し、巣立っていきました。今回、状況は異なりますが、学生、教職員にとって忘れられない卒業式になると思います。

さて、平成から令和にかわった看護大学の1年を振り返ってみますと、学生たちの課外活動の活躍を感じた年でありました。オリンピック開催の前年にあたる4月、ドイツパラリンピック柔道チームが上越市で合宿を行った際に、本学では歓迎のコーラスと茶道お点前の披露、ドイツ選手へのインタビューといった学生の企画によるおもてなし交流が行われました。9月にはエジプト看護管理者研修の歓迎会において、よさこいサークルの元気な演舞披露から研修生と輪になって踊るといった交流がありました。2つの国際交流は今年度の優秀課外活動賞として学位記伝達式において学長表彰されます。

9月の学園祭（桜蓮祭）は、ダンスやよさこい演舞等の発表のほか、災害サークルのハンド・マッサージ、認知症オレンジサークルによる香り・アロマのワークショップ、がん征圧・患者支援のための「リレー・フォー・ライフ・ジャパンにいがた」の紹介など、教員と学生が共同で企画した看護大学ならではのプログラムがあり、訪れた地域の皆様に感心をもっていただきました。

今季は例年にない暖冬で、スキー発祥の地である上越市のレルヒ祭や十日町の雪まつりに影響するくらい雪が少ない1・2月でした。その様ななか、4年生は国家試験の受験勉強に臨み頑張りました。そして3月13日には90名が本学を巣立ちます。

春はもうすぐそこ、人類が経験したことのないウイルス感染伝播が1日も早く封じ込められることを願い、挨拶のことばといたします。

令和2年2月28日



卒業式 Graduation ceremony

旅立ちの言葉

新潟県立看護大学看護学部看護学科
卒業生代表

私達、新潟県立看護大学看護学部看護学科15期生90名は、この良き日に無事に旅立ちの日を迎えることができることをとても幸せに思います。4年間の大学生活を振り返ると昨日のことのよう思い出されます。

1・2年生、座学や演習、地域の方々との交流を通し看護の基礎を学びました。生活面では初めて親元を離れての生活に戸惑うと共に家族の存在の大きさを痛感しました。また、大学生活では様々な新しいことにも挑戦しました。その中でも私を大きく成長させてくれた一つがアルバイトです。自分でお金を稼ぐことの大変さや、お金をもらい働くことの責任感、スタッフやお客さんとのやり取りの中でコミュニケーションの楽しさや奥深さを知りました。他にも、夏休みや春休みなどの長期休暇を利用し、様々な場所に出かけました。観光するだけでなく、その土地の方や旅行客の方々との交流を通し自分には無い知識や考え方に刺激を受け、より柔軟に物事をとらえることができるようになったと感じています。このように大学生活の中で授業以外の時間を有効的に活用することができたのは学生ならではの経験であり、そこで得た経験はその後の実習でのコミュニケーション力や柔軟な思考力、多角的な視点に繋がっています。

3年生、一番印象に残っているのは半年間の領域別実習です。当初は自分の看護の知識や技術に自信が持てず、不安いっぱいでのスタートでした。しかし、実習が進むにつれ、その不安は自信となっていきました。それは看護学生として未熟である私を快く受け入れてくださった患者さんや御家族、優しく熱心にご教授くださった実習指導者の皆様、私たちの実習に寄り添い、サポートしてくださった先生方の支えがあったからこそだと思います。特に、患者さんや実習指導者の皆様、先生方の誉め言葉は私の看護に対する自信となり、興味に繋がりました。一方で、実習では患者さんを受け持ち、看護過程を展開する上での責任感や自分の不甲斐なさや押しつぶされそうになることもしばしばありました。そんな時心の支えとなったのは仲間との存在でした。日々肩を寄せ合いながら知識や技術の習得に励み、一つのチームとなってより良い看護を目指す中で、お互いの長所や短所を理解し合い、実習での喜びや悲しみを共有した私達には何物にも代えがたい絆が生まれました。そしてこの強い絆はそれぞれの道に進む卒業後も原動力となることと思います。

4年生、実習・研究・就活・国家試験と大学生活の集大成であり、忙しい中でも最後の学生生活を噛み締めた1年でした。また、自身の理想の看護師像を深く考えた年でもありました。

晴れて卒業の日を迎えた今、私達を支えてくださいました先生方、大学職員の皆様をはじめ、温かく見守り支えてくださった多くの方々に心より感謝申し上げます。私達を信じ応援し続けてくださった家族、常に学生第一に考え、暖かく見守り支えてくださった大学職員の皆様、不慣れな援助を受け入れ、私達に学ぶ機会を多く与えてくださった患者さんや実習指導者の皆様、時には父のように厳しく、時には母のように温かく看護の道へと導いてくださった先生方、同じ志を持ち切磋琢磨した仲間たち。すべての人の支えがあったからこそ、充実した4年間を過ごすことができました。言葉では言い表せないほどの感謝の思いを、明日の力に変え私たちは新しい一歩を踏み出します。



学外オリエンテーション（卒業生が1年生の時）



継燈式（卒業生が2年生の時）



球技大会



越後丘陵公園リレーマラソン大会



オープンキャンパス



第18回 桜蓮祭

11月3日

第18回 桜蓮祭を終えて



桜蓮祭実行委員長
2年生

今回は、令和元年11月3日に第18回桜蓮祭を開催しました。本年度のスローガンは「麗和～華やかなはじまり～」としました。今年は元号が「平成」から「令和」に変わりました。「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められています。その「令和」を引き合いに出し、「麗和」としました。元号の変化とともに、私たち学生も新たなスタートを切り、地域と心を寄せ合うという意味を込めてこのスローガンのもと活動してきました。今年度もスポンサーになっていただいた多くの企業の皆様、大学後援会の皆様から多くのご支援をいただき、無事学園祭を開催できました。心より御礼申し上げます。

雲ひとつない青空のもとたくさんの方々にお越しいただき、地域の皆様の声をいただき、笑顔を見ることができました。

今年度の学園祭では、吉本興業さんからジョイマンさんとひょっこりはんさんに来ていただき盛り上げていただきました。お客さん参加型のお笑いステージを披露していただき、学生・地域の皆様に大変盛況でした。

看護大学ならではの活動としては、災害看護サークルによるハンドマッサージ体験・非常食についての展示、4年生によるバイタル測定、同窓会による看護体験などの企画がありました。バイタル測定や看護体験を地域の方々に体験していただき、地域の方々の声を聞き地域と心を寄せ合うことができました。また上越がんプロジェクトによりサテライトを開催して、がんに関する展示をすることで地域の皆様にがんをより身近に感じていただけたのではないかと思います。

そのほかにもバンド、ダンス、よさこい、合唱サークルによるライブが行われ、好評をいただきました。2年に1度開催されるMiss NCN Contestではスローガンの「麗和～華やかなはじまり～」を意識して準備・発表しました。地域の美容室にご協力いただき、無事開催することができました。今年度も食品ブースによる販売も行い、多くの方にご利用いただきました。

無事に今年度も大きな問題なく終わることができ良かったです。来年度以降も地域の皆様に楽しんでいただけたよう、いただいた声や笑顔をもとに実行委員一同頑張りたいと思います。お越しいただいた方々、学園祭にご協力いただいた方々、誠にありがとうございました。ぜひ来年も桜蓮祭にお越しください。心よりお待ちしております。

管打楽器アンサンブル



茶道サークル
桜蓮茶会



合唱サークル



受付

さわやかに出迎え



ハカレンジャー4年



認知症オレンジサークル

アジア地域会議で発表



香り・アロマのワークショップ

リラックスしましょう



リレー・フォー・ライフ

活動紹介



野球サークル

からあげ



バレーサークル

フランクフルト



陸上サークル

ミニアメリカンドック



アウトドアサー



ダンスサークル

ポーズ、きまった！



よさこいサークル

迫力満点！



DANCE LIVE 2019



DANCE LIVE 2019へGo!



麗和
～華やかなはじまり～



ビンゴ大会

たくさんの参加で盛り上がりました



レシピコンテスト2019

おいしそうなメニューがずらり！

第18回 新潟県立看護大学

桜蓮祭

麗和～華やかなはじまり～

LIVE & EVENT

- ライブ
よさこい/ダンス/合唱/バンドなど
- イベント
ビンゴ大会/ハンドマッサージ/献血/ミスコン/子供向け看護体験/リレーフォーライフ・ジャパンにいがたサテライト開催

2019
11/3日
9:00~16:00

出演者
ひまわり
シャボン

スペシャル
ゲスト

公演場所/体育館
出演時間/11:00~11:30
2019年11月3日(日) 11:00~11:30

新潟県立看護大学
URL <http://www.niigata-cn.ac.jp>



Miss NCN Contest

2年に1度のコンテスト



オープンキャンパス

8月4日ほか

オープンキャンパスが開催され、今年も大勢の高校生、保護者の方からお越しいただきました。夏休み中ではありましたが、懇談会での参加者へのアドバイス、体験授業での実習補助、施設見学での誘導作業など多くの学生から協力を得られました。実際の学生とのふれあい体験を通して、本学の魅力を十分アピールしていただきました。



学生との意見交換会 1月9日

1～4年生の学生と学長、副学長などの大学を代表する教職員が出席して1年に1回開催されます。会では多くの意見、提案、質問が出されました。ともに協力し、大学がよりよい方向へ進んでいけるように考えながら、貴重な意見交換の場となりました。



看護研究発表会 12月17日

この看護研究発表会は、4年間の学修の集大成であり、この課程で得た経験や学びは、今後の糧になっていくものと思われます。

4年生は10分間の持ち時間の中、発表や質疑応答に堂々と答え、自らの研究成果を伝えていました。緊張の中それぞれが成長を感じる場面であったと思います。





学外活動の様子

Extracurricular activities

認知症オレンジサークルの活動 10月26日ほか

私たち認知症オレンジサークルは、主に認知症サポーター要請講座や、ボランティア活動を行っています。小学生や大学生から一般市民の方まで、幅広い年代の方を対象に活動しています。

10月26日にリージョンプラザで行われた、福祉・介護・健康フェアでも、認知症サポーター要請講座を行いました。ゲストには、介護経験のある認知症家族の方をお呼びし、対談形式で生の声を聴かせていただきました。参加してくれた方は熱心に話を聞いてくださっていました。また、講座を開催することで、私たちも認知症について考え、学び直す機会となりました。

<オレンジサークル 渡辺香里さん>



リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019 9月21日

9月に学びと親睦を深めることを目的として、新潟県内の看護系大学が5つ集まり、リレー・フォー・ライフ・ジャパンに参加しました。自治会が当番校の代表として準備から当日の仕切りまで行いました。私たちは、血圧測定を実施し、がんサバイバーやその家族、他にもブースを出している方々など、多くの人と触れ合う機会になりました。一番印象的だったのは、がんサバイバーの方が笑顔でご自身の病気について話している姿です。前向きに生きている姿をみて私自身とても勇気づけられました。また、学生間での交流も活発に行われ、大学についてや実習についての情報交換をして、充実した活動になりました。大学内だけでは得られない経験をすることができました。

<2年 石田葉那さん>



1年生ふれあい学習

ふれあい実習では地域で暮らす方々との交流を通して地域の特性や伝統などを学ばせていただきました。実際に地域の方のお宅にお邪魔して伝統料理の体験をさせていただいたり、昔から伝わる伝統工芸の体験をさせていただいたりするなど、とても貴重な経験となりました。また、通院や買い物などについて不便に感じていることはないかなどについて聞くことで、その地域の特性や個々の価値観などを知り、そこから看護にどのように繋げていく必要があるかなどを考えるきっかけになりました。

<1年 佐々木彩乃さん>



10月2日～10月3日ほか



